

横浜鶴見北ロータリークラブ YOKOHAMA TSURUMI NORTH  
2023年～2024年度 会長ターゲット「輝くロータリー」

## 週報第10号令和5年10月5日発

2023年～2024年度 R. I. 会長テーマ



鶴見百景の会「北寺尾」



横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／簡伸治 副会長／今井新一郎 幹事／祝康一

## 第2376回例会 令和5年9月28日

斉 唱 「奉仕の理想」  
ゲスト 中西けんじ様  
長谷川亮太様  
堀井 雅幸様

### 会 長 報 告

皆様こんにちは。今週も皆さんとお会いできる事に幸せを感じています。シルバーウィークはいかがお過ごしでしたか？お手元のお菓子は長崎の文明堂本店で購入したお土産です。私は初めてクルーズ旅行に参加しました。ダイヤモンドプリンセスで5泊6日の旅でしたが、快適で楽しかったです。全部含んでいるのでお値段的にも格安で、ブームになっているのもわかります。

9月15日 地区大会実行委員会に表彰委員会・松阪委員長・堀野さん・北村さんの3人に参加していただきました。今年は初日に表彰があるなど、ご苦勞をおかけします。よろしくお願いいたします。

9月20日 社会奉仕委員会の増田さんと私と一歩舎さんで平安子ども食堂支援に行ってきました。通常のお米10Kgと先日の駒岡支援学校ペンキ塗りの際に残ったお金でカレー（バーモントカレー9Kg）を購入して寄付させていただきました。今はお弁当の配布に変えた関係で、毎回80食前後でているそうです。寄付は大変ありがたいとおっしゃっていました。地域に定着した活動になっていると感じました。

9月26日 財団セミナーZOOM開催に参加しました。財団の活動内容の説明・寄付の内容の説明・留学生学友会からの発表など盛り沢山な内容でした。財団についてはロータリーガイドブックをご覧ください。田中麻琴学友会会長の発表を共有させていただきます。第2590地区は360人以上の会員がいて、全国でも活発な地区とな

っている。留学後2年間役員として貢献することを義務付けている。学友会として従来の壮年会に加えて、歓迎ハイキングの開催、学友カウンセラーを1人に対し2人つけて劉宇学のフォロー、地域還元事業をしてアカデミックシリーズの開催をしている。

- ・留学経験者によるプレゼン・座談会
- ・留学からのキャリア形成
- ・中・高・大学が参加している

アンケートを見ると、ロータリー関係者以外の参加者がロータリーに関心を持ってきています。活発な活動をされてました。

学友会総会を地区大会の午前中11月11日9:30~12:00で開催します。ぜひご参加ください。それとロータリー平和フェロー深谷春奈さんの紹介もありました。

9月27日 会員増強意見交換会がZOOMで開催されました。残念ながら出席できませんでしたが、事前アンケートで各クラブの入会促進と退会防止の工夫内容の共有をいただきました。

本日は中西先生・秘書の長谷川さん・後援会副会長堀井さんにお越しいただきました。中西先生のお話しは何度か伺っていますが、引き出しも多く、いつも楽しく聞かせていただいています。本日も期待しております。

以上会長報告とさせていただきます。

### 誕 生 祝

石渡 宏衛 会員（10月1日）



## 創立記念日

松田 啓 会員（10月2日）

## 入会記念日

松田 啓 会員（令和元年10月3日）

## 幹事報告

(1) 第16回たばこの吸い殻拾い&ウオーキング大会のご案内

11月23日10時半登録開始

集合場所 神奈川県地域労働文化会館2階

(2) 横浜訓盲学院 PTA バザー開設のご案内と献品のお願い

会場 横浜訓盲学院（校庭 講堂）

2023年11月18日 12時より15時まで

(3) 地区大会のお知らせ

11月11日です。皆さんご参加よろしくお願いたします。

## 委員会報告

【牧井秀賢会員】

・R財団セミナー報告

【松田啓会員】

・年末家族例会について

【石渡宏衛会員】

・米山豆辞典について

## 出席報告

会員総数 33名  
今回暫定 25 / 33 = 75.75%  
前々回確定 19 / 33 = 59.37%

## ニコニコBOX

（クラブ会員の為、敬称略）

簡 伸治 中西けんじさん、長谷川亮太さん、堀井雅幸さん、鶴見北RCようこそ！楽しんでいてください。

祝 康一 中西さん今日は卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

小笠原憲介 中西様、今日は卓話ありがとうございます。先日はヨゼフ祭にご参加いただきました皆様ありがとうございました。本日出欠表を回覧させていただきますので宜しくお願い致します。また、本日夢ひろばの説明会の為、次回例会にて委員会報告をさせていただきます。ラグビーW杯サモア戦明日朝4時からです。

赤塚 一志 石渡さんお誕生日おめでとうございます。松田さん創立記念日おめでとうございます。中西先生の卓話興味をもって拝聴いたします。

天野 直樹 中西様、本日の卓話大変楽しみにしておりました。しっかり勉強させていただきます。

長澤 尚明 中西先生、今日は卓話ありがとうございます。「混迷な時代にどう立ち向かうか」楽しみに拝聴させていただきます。

松阪 脩平 秋のお彼岸も終わりましたが、まだまだ暑さが残っており体がついていきません。

石渡 宏衛 誕生日を祝っていただきありがとうございます。

多田 信哉 先日はお忙しい中ヨゼフ祭にお越しいただきありがとうございました。IACにエールを送って頂いたことで本人たちもとても励みになっておりました。

牧井 秀賢 中西先生興味深いお話し楽しみにしております。

田邊 勝久 中西先生、ご多用のところ卓話ありがとうございます。

藤林 直美 大変興味のある話題です。楽しみに拝聴いたします。

上村 政二 中西さん卓話ありがとうございます。石渡さん誕生日おめでとうございます。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

合谷保爾 増田泰成 今井新一郎 加藤進  
晝間勝 仲亀晃央 生方常明 渡辺直昭  
佐久間務 松田啓

## 卓 話

### 「混迷な時代にどう立ち向かうか」



中西 けんじ様

#### 1. ご挨拶

皆さん、こんにちは。本日は横浜鶴見北ロータリークラブ例会での卓話をする機会をいただき誠に有難うございます。ご紹介いただきました衆議院議員の中西健治です。

#### 2. 参議院神奈川選挙区から衆議院神奈川三区へ

2年前の衆議院選挙で小此木八郎先生の後を引き継ぎまして鶴見区、神奈川区の衆議院3区で選出いただきました。

その前は私は2期11年間神奈川県全体を選挙区とする参議院議員でしたが、神奈川県はあまりにも広いのでどうしても参議院議員の選挙区との関わり方は広く薄くなってしまいま

す。そうすると有権者の方の声を政治に反映する機会も自ずと限られてしまうので、やはり地元に関わり合いを生やしたい、皆さんとの関わり合いも深くしたいと思い悩んでいたところ、小此木先生が横浜市長選に出馬される際に衆議院への転身のお話をいただき参議院議員を辞職して衆議院選挙に臨んだ次第であります。

#### 3. ビジネス界から政界へ

したがって国会議員になってからはトータルで13年が経ちました。その間私は日本の経済をなんとか強くしたいと思い、さまざまな発信を行ってきました。

そもそも外資系証券会社に勤めていた私が政治の世界に入ったのは、以前は「日本は政治は2流だけど経済は1流だ」と言われていたのが「日本は政治が2流のせいか、経済まで1流とは言えなくなっているのではないか」と認識しており、経済を強くするためには政治をなんとかしなくてはいけないのではないかと、経済、金融で働いてきた自分の経験を役立てることが出来るのではないかと考えたからです。

#### 4. 目指しているもの

もちろん経済を強くすることは究極の目的ではありません。

経済を強くすること、お金が回ることで、人々の暮らし向きがよくなること、税収が増えて社会保障の持続可能性を高め充実を図ることが目的です。ポスターのキャッチフレーズ通り「強い経済で優しい社会を」です。

そして海外で仕事をしてきた経験から見て、日本は経済が強くなければ国際的な存在感は上がりません。日本が国際的に信頼され、尊敬される国であるためにこれからも精進していこうと思っています。

#### 5. 重要なのは党内の議論（ガソリン補助金の例）

様々な発信を行ってきていると申しあげましたが、発信の場というのは国会の質問だったり、党内の政策調査会の議論だったりします。

国会質問も極めて重要ですが、実質的に政策がどんどん動いていくのは党内の議論ですので、「はい、はい、はい、はい」と極めて積極的に手を挙げて発言しています。

例えば今月も9月末で期限を迎えるガソリン補助金を延長するかどうかという議論がありました。私はこうした補助金は本当に困っている方に手を差し伸べるべきだと考えていますので、こう申し上げました。「ガソリン補助金はメリハリをつけて、日常の足としてガソリンが必要だが家計が本当に困っている人、事業で車を使っている会社などに重点化すべきだ。そのために補助金の対象からハイオクを除くべきだ」と。

私のあとに発言した議員からは「中西さんのアイデアいいね」という賛成論も多数出ましたが、経産省は「小売の現場が混乱する、補助金は元売りに渡しているなのでその先まで口を出すと過剰な価格統制になる」などと言って後向きで今のところ実現できていませんが、いずれは出口が必要な補助金ですから重点化はすべきだと考えています。

## 6. 「税収増」について

### (1) 「成長の果実」とは

さて、一昨日岸田総理は経済対策の指示を出しました。物価高対策や賃上げ促進などの柱が並んでいます。その中で総理は「成長の成果である税収増を適切に国民に還元する」として「減税」という表現を用いました。賃上げや半導体投資などを後押しする税制改正は大いにすべきなのですが、私は税収については特に一家言があるので「成長の成果である税収増」という表現に大いに引っかかりました。

確かに税収は増えています。驚くほどに。しかし、この税収増が本当に成長の成果なのか？という点が引っかかっているんです。皆さん、いかがでしょうか。私はコロナ禍の税収増について、こうした講演や国会質問でもたびたび取り上げてきているので聞いたことがあるかたもいらっしゃると思います。

### (2) 税収上ブレ（ちょっと振り返ってみましょう）

先日、日経新聞の一面トップに「低成長で税収増の不思議」という大きな記事が出ましたが、あれは私の着眼点が記者との対談と国会質問をベースに記事になったものです。

#### (A) 3兆円減予想が3兆円増

はじめに違和感を感じて驚いたのは菅内閣で財務副大臣をしていたときに発表された令和2年度、コロナ禍一年目、の税収がバブル期を超えて過去最高額になったことでした。元々の予算では58兆円を見込んでいた税収でしたが、コロナ禍で景気が悪いので補正予算で55兆円に減額補正したところが、蓋を開けてみたらなんと61兆円。3兆円減どころか3兆円増えちゃいました。

#### (B) K字型回復と法人税

税のプロの財務省がどうして見誤ったのか。財務省の主税局と散々議論しました。税目の中で一番予想と乖離してしまったのは法人税です。8兆円と見積もっていたのが11.2兆円です。なんと4割も見誤りました。

私の説はコロナ禍では所謂K字型回復になっていたのだから、K字型の下線部にあたる対面サービス業、飲食や旅館などは業績が厳しい一方、K字型の上線部は巣籠もり需要を取り込んだ電機、ゲーム、ITなどの業績が絶好調で、税の世界では元々赤字の企業は法人税を納めていないので税収に与える影響が無いのに対し、黒字企業が増えたり、黒字幅が増えれば法人税収はそのまま跳ね返ってくるので税収が増えたというものです。

#### (C) さらに続く上ブレ

そして、翌年令和3年度、コロナ禍2年目の税収は6兆円増えて67兆円。この上振れはなんなのか。

令和3年度は為替が108円から125円まで円安に進んでいったので輸出企業や海外ビジネスの業績が好調だったということでした。同じK字型でも上線部が輸出、下線部がそして輸入ということだったんだと思います。



そして令和4年度の税収が先週発表になりましたが、またまた4兆円増えて71兆円です。法人税に加えて所得税も消費税も増えています。

#### (D) 累積30兆円の全体を説明できるのは？

それぞれの税目について部分的な説明は可能です。

消費税収については、財務省は物価が上がっているからだと言っていますが、以前は海外旅行に回っていたお金が国内の高額品消費に向かったことも消費税収を押し上げたのだということも推察できます。所得税収も増えています。給与所得が幾許か増えた、配当金収入が増えていることも理由とされています。

こうした部分的な説明というのは出来るのですが、3年間も低成長のもとで毎年5兆円ずつ増える、累積だと30兆円も増えたことにはなにかカラクリがあるのではないかと3年も続くと考えざるを得ません。この3年間の特殊要因はなんなのか。

#### (E) 財政出動

カラクリはコロナ禍で行った大盤振る舞いの財政出動なのではないか。

100兆円以上、給付金、支援金、調整金の名目で財政出動したのが、やり過ぎてしまったので思わぬ形で税収増となって返ってきているのではないか、というのが現時点での私の推論です。

皆さんの周りにもいらっしゃいませんか。飲食店で店を閉めていたと思ったら車がベンツになっていた、病院の院長さんがストラスバリウスというバイオリンの名器を買ったというような話をよく耳にします。財務省も私の推論が正しいのだろうと考えているようですが、過去の補正予算が大きすぎたんだと財務省が言うとハレーションがおきますから、表立ってはそうしたことをいうことはないと思います。

#### (3) 注意すべき反動

緊急時でしたから多めに財政出動することそれ自体は避けられません。大切なのは今後です。

私は日本経済の今後については非常にポジティブに考えていますが、私が税収について言いたいのは、今後成長してもコロナ禍の財政出動の反動で税収減という事態が訪れるということに覚悟しておかなければならない。これまでの税収増を成長の果実ととらえることは危険なのではないかということです。減税の一方で増税の議論からは逃げてはいけないということです。

## 7. 大転換期

さて、いま私は日本経済の今後についてポジティブだと申し上げました。私が今日申し上げたい最大のテーマは「われわれは日本経済社会の大転換期にいる」ということです。

1989年の株価38915円をピークにバブルが弾けて以来日本経済が成長しない失われた30年を経験しました。不動産融資の総量規制や平成の鬼平と呼ばれた日銀の三重野総裁のもとでの金融引き締めで人為的に潰したバブルがかくも長い間の停滞を引き起こすとは想定されなかったんでしょう。

#### (1) 失われた30年(20年と10年)

この30年はデフレの30年です。失われた30年を私は二つに分けて考えています。とにかく金融機関も事業会社も不良債権処理に追われた委縮の20年。そして第二次安倍政権がアベノミクスを採用してから、コーポレートガバナンス改革などが進み、企業が稼ぐ力をつけてきた直近の10年間。

#### (2) デフレからインフレに変わると

ただデフレのくびきのもとでは積極的な設備投資や人的資本への投資というところまではいかなかった。それがインフレのもとで変わりつつあります。

インフレは生活コストが上がるので当然マイナスの部分もあります。しかし、デフレのもとでモノの価格は上がらない、給料も上がらない、投資もしないというよりもプラスが大きいと思います。インフレ下で実質金利がマイナスになってきたので、企業が投資に積極的になっ

てきているのが日銀短観やGDP統計に如実に現れています。この前向きな動きを後押ししていくのが私たちの使命です。

### (3) そもそもデフレでは、

日本はイノベーションが足りないと言われてきました。しかし考えてもみてください。デフレのもとでは価格を下げることに血道をあげているわけですから、良いものを作っても高く売れない、素晴らしいサービスを提供しても高い値段をつけられないのであれば、イノベーションは起こりづらいと思いませんか。アニマルスピリッツはデフレでは喚起されません。

## 8. 日本経済の力に自信を持ちましょう

### (1) 効率性とは結びつかない「OECDの生産性」(単にGDPを働いた量で割っただけ)

私がとかく自虐的なネタを書きたがるマスコミとよく議論することがあります。それは生産性という言葉です。

よく新聞などでこう書かれています。「日本はOECD38カ国中、生産性が29位だ」と。生産性という言葉で想起されるわれわれの仕事の効率性ってそんなに低いんですか。

こういう経験ありませんか。海外のデパートに行くと、店員はおしゃべりしていて買い物客に振り向こうともしない、レジでは87ドルの商品を買うために100ドル札をだすと、「88、89、90」と1ドル札を一枚ずつ置いていき、最後に10ドル札を置いて「はい、これで100ドルね。サンキュー!」。そんな国で「1ドル札は嵩張るから、お釣りで10ドル札を2枚もらおう」と107ドルを出したら、「多過ぎる」と言って間違いなく7ドルを先に突っ返されます。海外の店員さんは、暗算は出来ないと思ったほうが間違いありません。1分違わず電車が運行し、高品質の機械を製作するこの国の生産性がハンガリーやチェコと同じレベルだと鶴呑みにして記事を書くのはどうかしています。日本のレストランや旅館に喜んで外人が入ってきます。サービス、品質が素晴らしい。おまけに値段が安いからです。価格を上げれば生産性

はすぐに上がります。

### (2) 正しい値付け=生産性上昇

生産性は単に価格づけの問題なんだと考えています。デフレの世界から脱して価格づけが変われば生産性の順位などはすぐに上がります。自信を持って前に進んでいきましょう。日本の変化を世界が注目しています。株価にも現れています。この大転換機をなんとしても期待で終わらせずにモノにしなければなりません。

## 9. インフレと金融資産

この大転換期は家計もうかうか出来ないと思います。デフレからインフレへのパラダイムシフトの中で個人金融資産が現預金に眠ったままだと家計はインフレに負けてしまいます。

### (1) 金利と配当利回り

皆さん、預金で年10000円の金利を得るために必要な元本金額はいくらかご存知でしょうか。なんと10億円です。源泉税まで考慮すると12億5千万円です。普通預金金利は0.001%ですから。一方で、メガバンクの株式配当利回りは3.5%もあります。3500倍です。信用力リスクは同じです。株は市場での値動きのリスクがありますが、3500倍なら一部は株式で持っていていいのではないのでしょうか。

### (2) NISAの抜本的改革(財務金融部会長として)

そんな思いから、NISAの拡充を議論した自民党税制調査会の平場の議論では、自民党国会議員400名のうち250名ぐらいが出席して100名ぐらいが「はい、はい、はい」と手を挙げて意見を言うのですが、私の発言回数ももっとも多かったと思いますし、発言総時間も回数に比例するよりも長くなっていましたし、総音量もそれに輪をかけたものになっていたと思います。

これまでのNISAや積立NISAがしょぼかったので、個人投資家の関心が余り高まらないどころか、金融機関や証券会社も力が入らないという代物でした。岸田総理が資産所得倍増と高らかに宣言するからには、それに見合うものにし

なくてはならないと論陣を張りました。

NISA 制度の恒久化、非課税期間の無期限化、年間投資上限額を積立NISAは3倍の120万円、一般 NISA の後継となる成長投資枠は年間 120万円から 240 万円へ 2 倍に、これまでは NISA か積立 NISA のどちらか一方しか選択できなかったのが併用可能に、さらにはいったん売ってしまっても非課税枠の再利用可能と、官邸の後押しもあって主張した殆どを勝ち取ることができました。

勝ち取れなかったのはジュニア NISA に代わるものとして、投資可能年齢の引き下げを主張しましたが、これは金融教育が充実して、機運が高まってきたら再チャレンジしたいと思います。日経平均が 33000 円をつけたのは外国人投資家が主導し、個人投資家は買い遅れていると言われていました。NISA の新制度開始に向けて個人投資家の関心も高まっていくことを期待しています。

## 10. 京浜工業地帯の中心地を環境先進地域へ

さて私の選挙区である横浜市鶴見区、神奈川区の神奈川 3 区には言うまでもなく 70 年代、80 年代の高度成長期を引っ張った京浜工業地帯があります。当時は煙モクモクで日本経済を牽引しましたが、2050 年カーボンニュートラルに向けて大きく変貌しようとしています。

私は頻繁に環境に先進的な取り組みをしている企業、工場を訪問しています。1968 年から長きに渡って鶴見に本社があった千代田化工は水素を大量に常温で既存のタンカーを使って輸送することができる SPERA 水素を開発しました。実証事業も終わり商用化もうすぐです。研究所は神奈川区子安に、プラントは川崎にあります。ドイツのショルツ首相が昨年来日したときにどうしてもプラントを見たいとのことで羽田空港から帰国の途に着く前に寄って行ったそうです。その後ドイツのハンブルク港と水素輸送と貯蔵の商談が進んでいるようです。

ミドリムシで有名なユーグレナの中央研究所も鶴見にあります。ミドリムシの油脂を使っ

てバイオ燃料を作っています。一般販売も開始されました。JR 東日本の水素電車に試乗してきました。鶴見線で実証実験が行われています。パンタグラフがないので摩擦音もなく極めてスムーズです。2 両編成の電車はトヨタの水素自動車ミライの燃料電池をほぼそのまま4つ積んで動きます。JR 東日本とトヨタとイワタニが組んでまずは国内で将来的には海外に売っていきたいという意向です。こうした取組みを是非応援していきたいと思います。

いろいろな規制についての相談も寄せられています。金融面でも一足飛びにすべてグリーンというだけでなく、ブラウンからグリーンに一步步進んでいくトランジションを積極的に評価してファイナンスが出来る仕組み作りをしていきたいと思います。

2050 年に向けて鶴見神奈川、横浜が日本、アジア、世界を引っ張っていくために私自身頑張っていきます。

## <鶴見ケンズクラブ>

最後に宣伝めいてしまいましたが、鶴見、神奈川の将来をどのように変えていくのか、是非とも一緒に考えていく仲間を募っています。鶴見では鶴見ケンズクラブという去年立ち上げた会があります。今後も少しずつでも輪を広げていきたいと考えています。ご関心のある方は是非。来週水曜日 10 月 4 日には鶴見駅発で日銀、東京証券取引所、国会を見学するバスツアーも開催します。どうぞ宜しくお願いします。

## 例会予定

- 10月12日(木) 休会
- 10月19日(木) 新横浜グレイスホテル
- 10月26日(木) 新横浜グレイスホテル
- 11月 2日(木) 休会
- 11月 9日(木) 新横浜グレイスホテル